

株式会社ベイオーク

2022年度環境経営レポート

(対象期間 : 2022年 4月～2023年 3月)



作成日 : 2023年4月21日



®環境省

エコアクション21

認証番号0009372

□ごあいさつ

お客様第一主義にたって、会員のお役に立つ、より良いサービスを提供し、「公平・公正」な中古自動車オークション事業を行います。

勤勉でチャレンジ精神旺盛な社員の働きやすい職場環境を提供し、社員の生活向上をはかり、株主への還元ができる業績をあげ、企業価値の向上に努めます。

社員の教育・陶冶に勤め、業界の発展、社会への貢献、環境にやさしい企業を目指し日々「スピード・革新・創造」を合言葉に走り続けます。

株式会社ベイオーク
代表取締役社長 塩原淳平



環境経営方針

<環境理念>

株式会社ベイオークは、ますます深刻化する地球温暖化や、地下資源の枯渇などの環境問題が、経営の重要課題との認識にたち、事業活動における環境負荷の低減を図るために、業界・団体とも連携し、全社員一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
2. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
 - ①電力及び燃料の二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会への対応）
 - ②廃棄物排出量の削減及び再資源化の推進（循環型社会への対応）
 - ③水道水使用量の削減（水資源の保全）
 - ④環境に配慮したサービスの企画・開発を推進します
3. 環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。
4. この環境方針は、全従業員に周知・徹底します。

制定日：2012年10月1日

改定日：2021年10月1日

代表取締役社長 塩原淳平

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 ベイオーク

代表取締役社長 塩原淳平

(2) 本社所在地 大阪府大阪市住之江区南港東3丁目5-30

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 総務室 北辻哲郎 TEL:06-6612-5611

担当者 総務室 北辻哲郎 TEL:06-6612-5611

(4) 事業内容

中古自動車オークション事業

(5) 事業の規模

出品台数 50,789台
売上高 955百万円

サイト名	オークション棟	南港P	南港P 2	ベイヤード	本社P	南中協
従業員	40	-	-	-	3	-
土地	7,653.55	12,388.38	6,296.97	5,434.65	4,751.34	7,596.76
延べ床面積	26,364.83	-	-	-	1,182.24	2,181.77

(6) 事業年度 4月～3月

□認証・登録の対象組織・活動

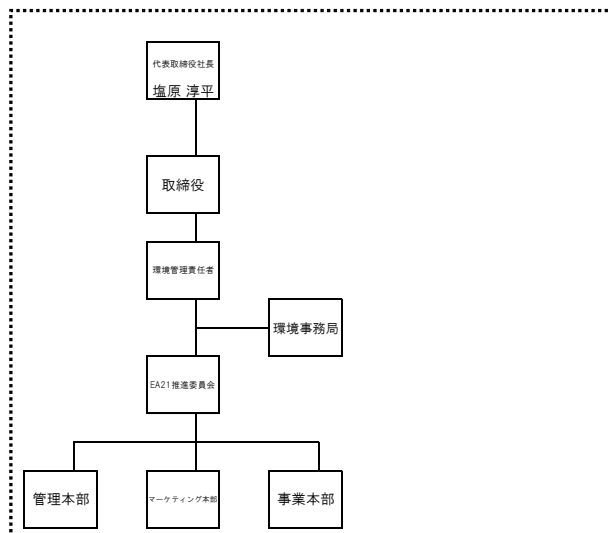
登録組織名: 株式会社ベイオーク

活動: 中古自動車オークション事業

サイト:
オークション棟 大阪市住之江区南港東3-5-30
南港プール 大阪市住之江区南港東2-3-63
南港プール2 大阪市住之江区南港東3-3-9
本社棟 大阪市住之江区南港南2-4-104
ベイヤード 大阪市住之江区南港南2-23-9
南中協 大阪市住之江区南港東2-3-1

対象外: なし

株式会社ペイオーク 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者	・ 環境経営に関する統括責任
代表取締役社長	・ 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、 時間、技能、技術者を準備
	・ 環境管理責任者を任命
	・ 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知
	・ 環境目標・環境活動計画書を承認
	・ 代表者による全体の評価と見直しを実施
	・ 環境活動レポートの承認
取締役	・ 代表者不在時の代行
環境管理責任者	・ 環境経営システムの構築、実施、管理、 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告・ ・ 環境活動レポートの確認
環境事務局	・ 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・ 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・ 環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・ 環境活動の実績集計 ・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・ 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・ 環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
EA21推進委員会	・ 環境自事務局の補佐 ・ 環境目標、環境活動計画書原案の検討 ・ 従業員に対する教育訓練の検討・作成 ・ 特定された項目の手順書の検討・作成 ・ 各部門の問題点、予防処置のすり合わせ
プロジェクトメンバー	・ 自部門における環境方針の周知
各部門長	・ 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・ 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・ 特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・ 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・ 試行・訓練を実施、記録の作成 ・ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全社員	・ 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・ 環境方針、環境活動計画書を守り、自主的・積極的に目標 達成の為に環境活動へ参加し提言も行う。

口負荷実績の推移

項 目	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	536,253	481,935	810,393	870,181	971,116	1,047,679	683,144	429,065	343,317
廃棄物排出量	kg	1,858	3,130	1,629	1,503	1,722	1,541	1,199	32,245	66,266
一般廃棄物排出量	kg	1,858	3,130	1,629	1,503	1,722	1,541	1,199	1,245	1,266
産業廃棄物排出量	kg								31,000	65,000
水使用量	m ³	3,594	3,637	4,376	5,083	5,397	5,984	3,189	4,024	1,414

※電力の二酸化炭素排出量換算値 (0.294 kg-CO₂/kWh)
 エネット 0.373 R4基礎 kg-CO₂/kWh
 関西電力 0.362 R5基礎 kg-CO₂/kWh
 大阪ガス 0.426 R6基礎 kg-CO₂/kWh
 大塚商会(グローバルエンジニアリング) 0.321 R7基礎 kg-CO₂/kWh

口環境目標及びその実績

項 目	年 度	基準値	2020年	2020年	2021年	2021年	2022年	2022年	2023年	2024年
		(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量 削減	kg-CO ₂	682,444	715,162	633,590	707,303	379,632	341,200	302,985	327,500	313,900
	基準年比	(2016年)	91.0%	80.6%	90.0%	80.6%	50.0%	44.4%	48.0%	46.0%
LPGの二酸化炭素排出量 削減	kg-CO ₂	435	421	219	417	263	217	189	195	186
	基準年比	(2017年)	98.0%	50.9%	97.0%	60.5%	50.0%	43.4%	45.0%	43.0%
ガソリン・軽油の二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	90,338	85,800	49,336	85,300	41,690	45,100	39,829	44,700	44,200
	基準年比	(2011年)	95.0%	#DIV/0!	94.5%	46.1%	50.0%	44.1%	49.5%	49.0%
上記二酸化炭素排出量合計(灯油含む)	kg-CO ₂	773,217	801,383	683,144	793,020	421,585	386,517	343,317	372,395	358,286
一般廃棄物の削減	kg	3,265	3,150	1,199	3,134	1,245	1,633	1,266	1,469	1,437
	基準年比	(2013年)	96.5%	36.7%	96.0%	38.1%	50.0%	38.8%	45.0%	44.0%
産業廃棄物(廃油等)の削減	kg	31,000	0	0	0	31,000	29,450	65,000	27,900	27,900
	基準年比	(2021年)				100.0%	95.0%	209.7%	90.0%	90.0%
水道使用量	m ³	3,594	3,410	3,189	3,378	4,024	3,340	1,413	1,540	1,500
	基準年比	(2015年)	95.0%	88.7%	94.0%	112.0%	93.0%	39.3%	43.0%	42.0%
製品への環境配慮 (軽四 出品比率)	件	-	35%	35.5%	35%	39.0%	35%	41.7%	35%	35%
	基準年比	(2015年)								

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画		達成状況	次年度	評価(結果と次年度の取組内容)
電力による二酸化炭素排出量の削減				
数値目標	○			
空調温度の適正化(冷房26℃暖房22℃)	○	継続	社内の目標として、19時消灯を掲げ業務全体の見直しを図っています。照明をLEDに交換	
不使用時の消灯(19時消灯)	○	継続		
エアコン清掃、エア漏れ点検	△	継続		
不使用時のパソコン、機器の電源OFF	○	継続		
立体駐車場の水銀灯→LED電球への交換	○	継続		
社内蛍光灯のLED電球への交換	○	継続		
LPGによる二酸化炭素排出量の削減				
数値目標	○			
給湯器3箇所への省エネ掲示を張り付ける	○	継続	給湯器・コンロ等への表示と共に、コンロの消し忘れを社員全員で見守る。	
消し忘れの相互監視	○	継続		
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減				
数値目標	○			
アイドリングストップ	○	継続	館内配置等行い、エンジン始動時間や距離を短縮し、CO2削減に努力してまいります。	
急加速の抑制	○	継続		
冷房の控えめ使用	○	継続		
効率的なルート選択での消費減	○	継続		
横持ちでのエコドライブの実施	○	継続		
低燃費車の導入	○	継続		
一般廃棄物の削減				
数値目標	○			
分別ボックスを設置し分別の徹底	○	継続	燃えるごみを再分別し、紙・書籍をリサイクルに回す。	
重量把握	△	継続		
産業廃棄物の削減				
数値目標	×			
産廃置場を指定し、廃棄量の把握	×	継続	廃棄量の見える化で、意識を高める。	
水道水の削減				
数値目標	○			
節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	継続	地下配管での漏水が判明。使用量を継続的に見ていく。	
漏水等の把握	○	継続		
製品への環境配慮				
数値目標	○			
軽四祭りイベントで軽四出品比率を数値化	○	継続	通期で目標達成。今後も継続していく。	
軽四祭りイベントで軽四出品増を図る	○	継続		
社会貢献				
会社周辺道路の月二清掃の実施	○	継続	クルマ業界のネガティブ要因は交通事故や環境破壊です。それをエコアクションや献血・清掃活動を行います。	
赤十字誘致による年3回の献血活動	○	継続		

□環境関連法規制等とりまとめ

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物(紙くず、繊維くず、木くず、生ごみ)
フロン排出抑制法	業務用空調機・業務用冷蔵庫、冷凍庫・
消防法(危険物)	指定数量:ガソリン 200ℓ・軽油 1,000ℓ
グリーン購入法	備品購入品
自動車リサイクル法	出品車両
家電リサイクル法	エアコン・冷蔵庫

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守できました。
 なお、関係当局よりの違反等の指摘及び訴訟等は、過去4年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

ウクライナでの紛争が長期化する中、国内でも安倍元首相が狙撃され亡くなるという衝撃的な事件が起こった。
 環境問題に目を向けてみると、高温・台風の大型化など異常気象と言われ続け、異常が異常でなくなりつつある。
 この異常な状態が正常と言われることのないように、エコアクションを通じて貢献してもらいたい。

・実施体制には特に変更はない。

指示日 2023.4.21

□環境活動の紹介

ゴミの分別



クールビズ



□社会貢献活動の紹介

献血活動



清掃活動



岡山豪雨被災地ボランティア

